

お互いさまの心を育み
ともにつくろう地域のつながり

秋葉区 社協だより

特別対談

ささえあいのまち 「秋葉区」

新潟市秋葉区役所 区長

熊倉 淳一

新潟市秋葉区社会福祉協議会 会長

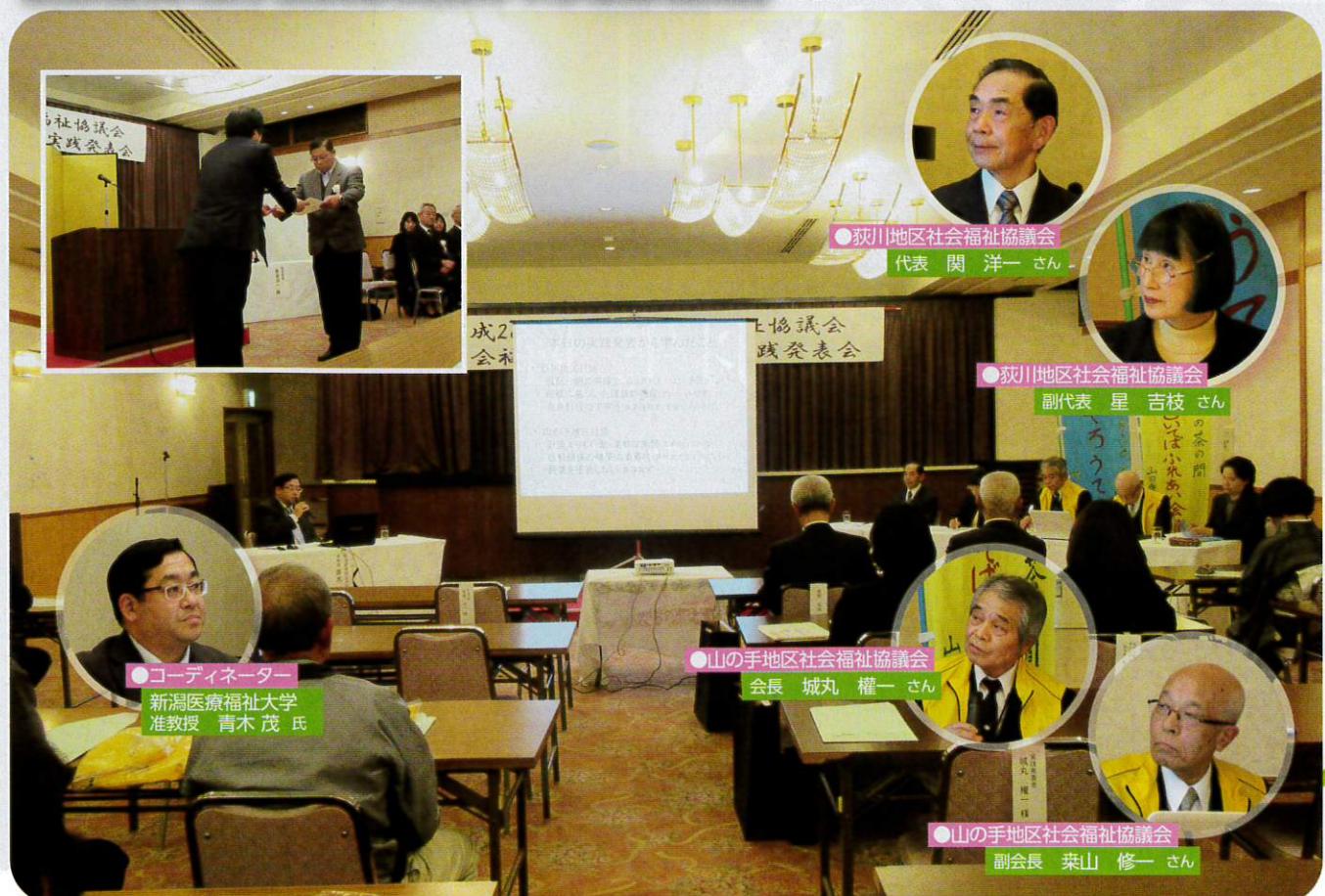
羽生 隆夫

第25号
平成29年4月9日
発行



秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰式並びに実践発表会

内容については、6ページをご覧ください。



ささえあいのまち 「秋葉区」

新潟市秋葉区役所 区長

熊倉 淳一
(くまくら じゅんいち)

新潟市秋葉区社会福祉協議会 会長

羽生 隆夫
(はにゅう たかお)

ナビゲーター
横山 めぐみ

Photo
川上 修史

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて動き出した「地域包括ケアシステム*」の構築。

その推進のため新潟市が目指す支え合いによる地域づくりは秋葉区において今どうなっていてこれからどう動いていくのか。

区のトップである熊倉区長と当会会長である羽生が語り合います。

秋葉区が誇るべき強みとは何か、住民相互の助け合いといわれるこの事業のキモとは何なのでしょうか。

撮影場所 「まちの茶の間 だんだん・嶋岡」(秋葉区小須戸)



*地域包括ケアシステム：要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援が確保される体制を指す。地域の自主性や主体性に基づきその特性に応じて作り上げることが必要とされている。



●秋葉区の区民力・地域力

ナビゲーター 地域包括ケアシステム 支え合いのしくみづくりについて区民の中で「まだよく分からぬ」という声があります。

区長 秋葉区は市の中でも高齢化が高い地域です。「地域包括ケアシステム」というと、特にシステムという言葉から、何か決まりきったものを当てはめるという印象があるのではないかでしょうか。言葉だけが独り歩きしているようなイメージはありますね。時間が掛かるとは思いますがもっと身近な「地域の中のつながりづくり」を育てて行ければと思ってます。

会長 社会福祉協議会（以下、社協）は元々高齢者に限らず、支え合いや生活支援を地域の中に根付かせる活動をしてきました。そうしたことをベースに、これまでどちらかといえばバラバラだった医療、介護、生活支援などを「協議しながら」地域を軸にして東ねしていく。包括ケアとはそんな活動だと思っています。

区長 それぞれの地域の活動には、それぞれの独自の特性があつてもろんいいし、高齢者支援が目立ちますが、その先には子どもたちを見つめる視線や或いは障がいを持つ人たちに対する支援も入ってきます。大事なのは地域の人たちが大きく背伸びをする事なく、そういう人たちに日常的に関わる環境なんだと思いますね。

会長 そうですね、やはり地域にはこれまでの取り組みの経過や歴史、個性があつて、そ

れを活かして更に活動を広げていくという視点はとても大事ですね。

区長 構えて「さあ、新しいシステムをつくるなきゃ」ではなくて、今までの地域の活動をベースに、じっくり話し合いながらそれぞれの目標に近づけていく。そしてその先にあるものが「包括ケアシステム」になっていく。それが最も自然で且つ「機能する」ものになるんだと思います。

会長 そこは、この事業の大きな「キモ」「基本」になるところだと思います。幸いなことに、秋葉区民の皆さんからはこれまで、そして今も様々な地域活動に積極的に取り組んでいただき、社協もそれに携わらせていただいています。



会長 これまで、子育てサークルのネットワークづくり等がメインでしたが、現在、ひとり親家庭への入学前のランドセルや体育着購入に対する助成等もしています。「子どもたちの貧困」は今、大きなテーマのひとつだと考えていて、秋葉区における実態把握が必要だと思っています。そのほか、障がいがある人の就労支援で「身だしなみ講座」など、高齢者以外のサポートが必要な方々にも地域の皆さんの方をいただきながら支援の輪を広げているところです。

区長 最近よく聞く「子ども食堂」なんかも結局はサロンなんかと根っこは一緒で、やはり地域の福祉力がなければ出来ないことだし、包括ケアもそうだとおもいますけど、形だけ作っても地域の中で機能しなければ意味がないわけですから、そこは時間が掛かるとは思っています。

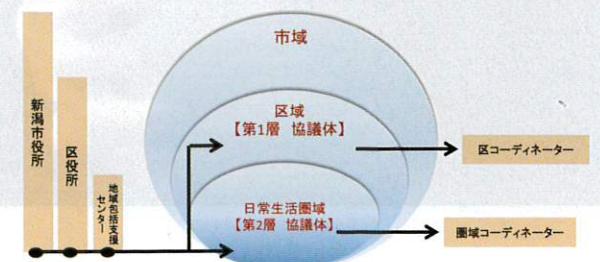
●システムの大事な柱

ナビゲーター “支え合い”的しくみづくりについての秋葉区の進みぐあいはどうでしょうか。

区長 現在（いま）のところは焦る事はないので、一つ一つゆっくりと足場を築いていく時期ではないかと捉えています。市内でも進捗が区によって違っていたり、それは全国的にもだと思いますが、その中でも秋葉区は比較的順調に来ているというように考えています。

会長 社協としては、地域の現場の皆さんとのこれまでの絆やノウハウ、ネットワークがあるので、1層（区全体）の協議体（※1）事務局をお引き受けしました。2層（地域包括支援センター3囲域）については「包括こすど」囲域の事務局を担当し、他2囲域は調整中です。どの地域においても「その地域に暮らしている皆さんの主体的な意見を最大限尊重していこう」という姿勢で対応したいと思っています。

区長 子育て支援に関しては社協はどんな活動があるんですか？



※1 協議体：新潟市では各囲域ごとの支え合いの仕組みを作る会議を協議体とし、「支え合いのしくみづくり会議」と呼ぶ。地元企業や専門職、コミュニティ協議会等、地域の様々な職種が参加する。

※2 フレイル：年齢に伴って、筋力や心身の活力が低下した状態。高齢者が増えている現代社会において、フレイルに早く気付き、正しく介入（治療や予防）することが大切だと言われている。

区長 それこそが、地域包括ケアシステムの大柱の一つである「地域の自主性、主体性に基づき特性に応じて作り上げていく」というまさにベースのところですね。

会長 そういう意味では、地域で実際に活動する皆さんへの動きやすい環境づくりやサポートは社協の重要な役割のひとつです。

区長 区ごとのアプローチの仕方はいろいろあってもいいですし、これは支え合いのもう一つの大柱なポイントでもある、足の確保「移送・移動」の課題にも言えることですね。

ナビゲーター 支え合いの協議体（※1）には区内企業の方々もおられますし、移送も含めていろいろな課題に向き合えると思っています。

区長 これは机上の話ではなく、地域に出向いて実際に語り合い、ネットワークを構築することしか、なしえないことなんですね。食、見守り、移送、そしてそこには健康寿命の延伸というところも必然的に入ってきます。最近言われる、フレイル（※2）では、専門職である理学療法士との協働で実際に要介護者がステージが下がって元気になったりという事があるそのなので、区としても地域のボランティアはもちろん、各種法人の専門職との連携も重要だと考えています。秋葉区社協で独自に進めている企業とのゴミだし支援はその後どうですか？



ナビゲーター おかげさまで少しづつ広がってきていて、昨年度からは新町が入ってきていました。小須戸のほうでもお話を出しているのですが、毎年、自治町内会長が変わっている地区なんかだとマッチングに時間が掛かるということはありますね。

●秋葉区民の誇れるところ

会長 秋葉区には介護保険開始当初から「要介護」「要支援」などに該当しない方への対応について、社協独自の「ふれあい福祉サービス」というものがあります。いわゆる住民参加型の生活支援サービスですけれども、昨年度、山の手地区内で同様の取り組みが始まり、電球換えや簡単な剪定などを会員相互に一時間100円で行おうという取り組みもされてきてるんですね。

区長 先進的で素晴らしいですね。区や社協でもいろんな講座、地域の茶の間などもやってますが、実は一番来て欲しい方や社会との接点を持ちにくい人に手が届かないという現実もありますよね。そうすると連れ合いの認知症に気づかない、異変があつても周りの人に気づかれにくい。山の手のような取り組みがすぐにはどこでもできるわけではないですが、地域はもちろん新聞、郵便、宅配の業者さんなど様々な企業さんとも協働の輪を更に広げていくことも大事ですね。



会長 そうですね。企業さんもそうですし、民生委員さんには日頃から大きな力添えをいただいている、とても感謝しています。

区長 今回の委員の改選で50名ほど変わるということでしたが、皆さんとても一生懸命に活動されていますし、全体的に非常に雰囲気がよく、前向きに結束力高く取り組んでおられていてありがたい限りです。それにしてもあの結束力の高さは何なんでしょうか(笑)

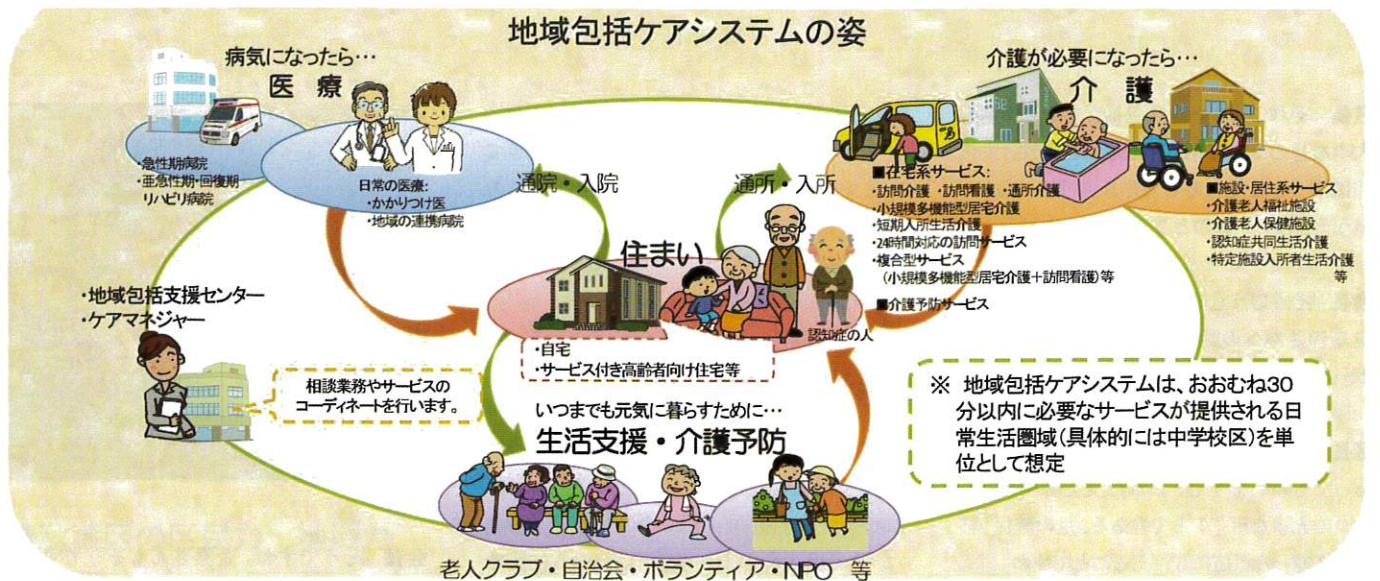
会長 真面目で、嘘がつけない。引き受けたからには手抜きはできないなど。これは自治会、コミ協、老人クラブさんなんかにもいえることで、秋葉区気質というか(笑) 民生委員さんに限らず住民の方々の特性とも言うべき誇れるところなのではないでしょうか。

まちの茶の間 だんだん・嶋岡

●新潟市地域包括ケア推進モデルハウス 子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現を目指し、支え合いのしくみづくりを進めるための拠点として設置。

●まちの茶の間 だんだん・嶋岡 平成28年5月21日にオープン。秋葉区地域包括ケア推進モデルハウスとして、「こすどプラチナネットワーク」（※3）が区内で初めて開設。高齢者の方たちの憩いの場、支え合いの拠点として期待される。

※3 こすどプラチナネットワーク 「高齢者、子ども、若者、障がいのある人もない人も、地域で暮らす人が自ら活躍する場」の実現を目指し、小須戸地区で立ち上がった団体。



区長 私もそう思います。敢えて課題といえば福祉に限らずですが、今まで一線で引っ張ってきたリーダーの次世代をどうするかということはありますが、少しづつ団塊世代もそこに入ってきてるので頑張ってもらいたいと思います。

会長 地域福祉活動の柱の一つである「福祉教育」も子ども世代から、それぞれの地域の取組みを実際に一緒にやって体験する中で、自分の育った地域に誇りをもてたり、そういうことを社協として更に丁寧に支援していくことも大事だと考えています。それが未来のリーダーを育てるということにつながると思っています。

区長 秋葉区は子どもたちが地域活動に参加する割合が他の区に比べて各段に高いという数字も出ているんですが、講座や学校だけでは

なく、茶の間や普段の日常の中でそういうことに触れる機会がもっとあるといいですね。

ナビゲーター 時間もきたようですので、お二方からそれぞれ区民の皆さんへメッセージをお願いします。

区長 私のメッセージはとてもシンプルです。「我々が今できることを、無理せず少しずつすすめて行きましょう」ということです。決して背伸びをする必要はないと思っています。ですので、引き続き区民の皆さんにはこれまで同様のご協力をお願い出来ればと思っていますのでよろしくお願いします。それから、社協とはこれまでこれからも、同じ目標に向かって一緒に同じ目線での協力を願っています。今日はお忙しい中ありがとうございました。

ナビゲーター 我々現場のワーカーも更にスキルアップして、地域の皆さんと一緒に汗をかいて頑張っていきます。今日はお忙しい中ありがとうございました。

会長 ありがとうございます。新潟市社協は



熊倉 淳一 (くまくら じゅんいち)

新潟市秋葉区役所 区長

profile
生年月日／昭和31年12月27日 出身地／五泉市
学歴／新潟県立新津高等学校普通科卒業、神奈川大学経済学部卒業 略歴／平成26年4月新潟市秋葉区長 趣味／スキー＆上達しないゴルフ。愛人に顔スリスリして匂いを嗅ぎ、「あ~イヌ臭い」と満足する？ 特技／衝動買い。特に割引率の高い商品に心乱れる。好きな作家／作家ではありませんが、某全国紙のコラムニストの竹内政明さんのコラムが好きです。秋葉区の好きなところ／場所／自身の「よりどころ」を持ち、信念を持って活動している人が多く、そうした人たちがいろんな場面でつながりを持ち、多様なネットワークが形成されている。顔の見える関係作りができるスケール感がいいですね。秋葉山から新津のまちを見ると、生活感と温かみを感じられ、なぜかホッとしています。



羽生 隆夫 (はにゅう たかお)

新潟市秋葉区社会福祉協議会 会長

profile
生年月日／昭和28年12月18日 出身地／新潟市（小学校6年生の時、新津へ） 学歴／新潟県立新津高等学校普通科卒業、國學院大學文学部史学科卒業 略歴／平成24年4月秋葉区長、平成27年より現職 趣味／夜、ヘッドフォンで音楽に浸りながら寝ること 特技／ご飯をおいしくいただき、しっかり身につけること 好きな作家／阿部昭（誰も知らない） 秋葉区の好きなところ／場所／人の良さ、アセキしない町の雰囲気、フローラードの菜の花、新津川の水仙、一之堰の桜

社会福祉功労者表彰式並びに実践発表会 開催

平成29年3月1日（水）にキャトル・セゾンを会場にして、秋葉区社会福祉協議会社会福祉功労者表彰式並びに実践発表会を開催いたしました。

社会福祉功労者表彰式

平成28年度は次の皆さまに社会福祉功労者表彰をお受けいただきました。

自治会長・町内会長、民生委員児童委員で10年以上勤務し功績のあった皆さま。

○真野 良樹 様 ○大橋 正文 様
○三浦 政雄 様 ○青木 達男 様

広域の地域福祉活動で10年以上活動し、特に功績顕著であった皆さま。

○高野 正子 様 ○中澤 順子 様
○堤 敏行 様 ○小田 智子 様
○NPO法人ディンプルアイランド 様



●写真（左より）

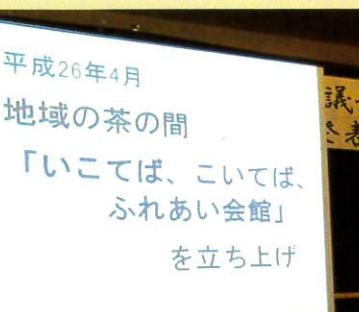
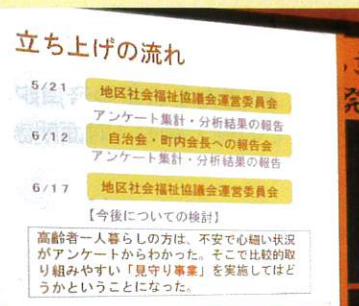
後段：真野 良樹 様、堤 敏行 様
中段：三浦 政雄 様、小田 智子 様、
NPO法人ディンプルアイランド 佐々木 美佳子 様
前段：羽生 隆夫、高野 正子 様、青木 茂准教授
※大橋正文様、青木達男様、中澤順子様は当日欠席

実践発表会

今年度は荻川地区、山の手地区より発表していただきました。

荻川地区では今年度実施した住民アンケートの結果を受けて現在取組を進めている見守り事業について、検討から事業概要の作成、自治会・町内会への事業説明会の実施などこれまでの流れを発表していただきました。アンケート結果という根拠に基づいた課題の抽出と、説明会等を通して丁寧に合意形成を行うことの大切さについて教えていただきました。

山の手地区では地域の茶の間の参加者の声がきっかけとなり立ち上げた、お互いさま精神による会員相互の助け合い活動「やろうてば」について活動するにあたり大切なこと、気を付けている事などを発表していただきました。会員同士の信頼関係の構築はもとより、柔軟な発想と行動力の大切さの他、同様の事業を生業としている他機関と対立関係が生まれないよう意識した線引きの大切さについて教えていただきました。



お詫び

秋葉区地域福祉推進フォーラムにつきまして、1月15日（日）に開催を予定しておりましたが、大雪のために中止となりました。皆様に多大なご迷惑をおかけいたしまして、誠に申し訳ございませんでした。

寄付金実績報告

善意のご寄付をくださりありがとうございました。
(平成28年10月～平成29年3月)

- 田家3丁目婦人会様 ○程島町内会様
- レクダンス・花の輪様 ○サークル・虹様
- 新津建築組合様 ○新町1丁目住女性の方
- 越佐雪割り草の会 八木 茂夫様 ○音声訳 糸の会
- 匿名 12件

賛助会員会費報告

企業・団体の皆さまから、地域福祉の推進という社会福祉協議会の趣旨にご賛同をいただき、
賛助会員としてご加入いただきました。
(平成28年10月～平成29年3月)

- 日宝町宝寿会様 ○車場寿会様
- 蒲ヶ沢里山会様 ○新潟薬科大学様
- 株式会社誠晃舎様

ボランティア講座情報

各種ボランティア講座を開催します。この機会に始めてみませんか。

手話奉仕員養成講座入門課程

日 時 6月14日～11月30日 水曜日または木曜日 ※開催曜日にご注意ください。19:00～20:30 全23回
会 場 新津健康センター 対 象 高校生以上の新潟市民 受講料 無料(ただし、テキスト代3,240円他実費が必要)

初級点訳ボランティア養成講座

日 時 5月10日～9月27日 每月第2・4水曜日 10:00～12:00 全10回
会 場 新津地域交流センター 受講料 無料(ただし、テキスト代1,080円実費が必要)

中級点訳ボランティア養成講習会

日 時 5月21日～12月3日 毎月第1日曜日(5月のみ第3日曜日) 9:30～12:00 全8回
会 場 新津地域交流センター 対 象 初級点訳講座修了者または同程度の人 受講料 無料

他、中級音声訳ボランティア講習会があります。詳細については、お問い合わせください。

このページの
情報についての
申し込み、
お問い合わせは
下記まで

点訳・音声訳のご案内

目の不自由な方への情報提供について

料 金 無料

文字(墨字)による情報入手が困難な方のために、点訳や音声訳(文字を声で録音したCD・テープ)などの方法で情報提供をしています。

目の不自由な方から要望のあった本、冊子、郵便物を点訳や音声訳にしてお届けする「プライベートサービス」や要望のあった手紙やお知らせなど直接お会いしてその場で読む「対面朗読」を行っております。詳しくは、お問い合わせください。

ふれあい福祉サービス

ちょっとした家事で困っている方に、住民(協力会員)の協力を得て行う在宅サービスです。

●協力してくださる協力会員を募集しています。

資格は必要ありません。助け合いの気持ちで活動くださる方

「できるときに、できることを、できるだけ」の活動にご協力をお願いします。

関心のある方は、事前説明会にご参加ください。(申込不要)

○毎月20日 10:00～12:00 ※土、日、祝にあたる場合は次の平日



お問い合わせ、お申し込みは／

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

■住 所：新潟市秋葉区新津本町1丁目2-39
(新津地域交流センター2階)

■電 話：0250-24-8376

■F A X：0250-23-3322

■E-mail：akiha@syakyo-niigatacity.or.jp

■ホームページ：<http://niigataakihaku-syakyo.jp/>